

基本目標1 「強靱」な水道の構築

主要施策(1) 安定給水の確保

主な取組名 浄・給水場等の更新・整備

主な事業名		ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業【計画課】					
R4年度予算額(千円)				R4年度決算額等(千円)			
R4当初予算	R4最終予算	R3 R4繰越	計	決算額	R4 R5繰越	計	
4,765,970	4,081,342	5,503,553	9,584,895	8,147,663	1,362,492	9,510,155	
達成指標		(ア)ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備の推進			達成状況		達成している
【R4年度事業計画】							
ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業については、これまでに発注した機械・電気設備工事等の着実な進捗を図るとともに、洗浄排水池機械設備工事の完成など、令和5年度の稼働に向け、工程管理を適切に行ってまいります。							
【事業の実施状況】							
浄水場の主要設備である洗浄排水池機械設備工事等が完成しました。また、これまでに着手した自家発電設備工事や新たに着手した場内整備工事等を進めました。							
【達成状況の分析及び課題】							
洗浄排水池機械設備工事の完成により、目標を「達成している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】							
令和5年度中の稼働に向け、引き続き場内整備工事等の進捗管理を行うとともに、試運転を確実に進めてまいります。							

主な事業名		栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業【計画課】					
R4年度予算額(千円)				R4年度決算額等(千円)			
R4当初予算	R4最終予算	R3 R4繰越	計	決算額	R4 R5繰越	計	
62,025	0	0	0	0	0	0	0
達成指標		(イ)栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進			達成状況		概ね達成している
【R4年度事業計画】							
栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業については、基本設計業務委託で得られた結果を受けて、実施設計業務委託を発注します。							
【事業の実施状況】							
令和4年度の計画である「実施設計業務委託の発注」の内容としては、浄水施設撤去に係る設計と、給水場化(更新)に係る設計を併せて実施することを想定していましたが、令和3年度末に完了した基本設計業務委託の結果より、事業の全体工程が長期に渡ることが判明したため、工事の実施順を考慮してこの設計を分離して実施することとし、令和4年度には浄水施設撤去に係る設計業務委託のみを先行して発注しました。							
【達成状況の分析及び課題】							
実施設計業務委託の発注については目標達成に至りませんでした。上記のうち、浄水施設撤去に係る設計業務委託を発注したことにより事業は進捗していることから、目標を「概ね達成している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】							
浄水施設撤去に係る実施設計業務委託等の着実な進捗を図るとともに、具体的な撤去方法について検討してまいります。							

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備【浄水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
7,168,866	2,965,766	244,849	3,210,615	2,450,541	450,615	2,901,156	
達成指標	(ウ) 自家発電設備の増強施設数				達成状況	進展していない	
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強(72時間対応へ)を実施します。                  令和4年度は、印旛取水場、高滝取水場、福増浄水場、幕張給水場、沼南給水場、姉崎分場における非常用自家発電設備の増強に係る工事に着手します。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  姉崎分場及び令和3年度に着手予定であった木下取水場における非常用自家発電設備の増強工事に着手しました。</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  高滝取水場及び福増浄水場については、入札を行ったものの不調となったことから、未着手となりました。                  また、印旛取水場、幕張給水場及び沼南給水場については、関係者との調整に時間を要したことにより、設計業務委託の完了が遅れ、未着手となりました。                  以上のことから工事着手件数は2件となり、計画に対する実績33%となったことから、「進展していない」と評価しました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  ここ数年の社会情勢により機器の製作期間が長期化したことから、単年度工事を2か年工事にする等の工程の見直しや上期に発注する等の対応により、入札参加しやすい条件としました。                  これらを踏まえ、令和4年度末に令和5年度以降の計画を見直した結果、令和5年度に当初予定していた5施設の工事に、令和4年度に着手できなかった5施設の工事及び令和6年度に発注予定であった4施設の工事の前倒しを加味し、令和5年度中に残る14施設の工事を発注することとしました。引き続き進捗管理を行ってまいります。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		0 施設 / 累計 (5 施設の工事着手)	0 施設 / 累計 (6 施設の工事着手)	13 施設 / 累計 (5 施設の工事着手)	20 施設 / 累計 (4 施設の工事着手)		
実績		0 施設 / 累計 (4 施設の工事着手)	0 施設 / 累計 (2 施設の工事着手)				

主な取組名 管路の更新・整備

主な事業名		鋳鉄管更新工事【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
24,400,000	24,434,733	8,550,859	32,985,592	22,027,503	9,322,459	31,349,962	
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長				達成状況	達成している	
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  令和4年度の実績は、計画80kmに対し、80.0kmとなりました。                  (計画に対する実績は100.0%)</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  計画に対する達成実績が100.0%となったことから、「達成している」と評価しました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  引き続き、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先して更新していきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		80km/年	80km/年	80km/年	80km/年	80km/年	
実績		73.5 km/年	80.0 km/年				

主な事業名		大口径管路更新工事（一拡栗山～船高線他）【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
4,573,344	3,051,112	928,465	3,979,577	1,369,276	2,032,000	3,401,276	
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施			達成状況	進展していない		
【R4 年度事業計画】							
ダクトイル鑄鉄管 よりも強度が低い高級鑄鉄管 を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。							
令和4年度は、一拡栗山～船高線、一拡園生～登戸線、一拡船高～園生線、園生～小倉線、藤崎～袖ヶ浦団地線の5路線において、計7件の工事に着手します。							
ダクトイル鑄鉄管：高級鑄鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。							
高級鑄鉄管：昭和5年から昭和46年頃まで製造された水道管で、ダクトイル鑄鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和40年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。							
【事業の実施状況】							
令和4年度は、一拡栗山～船高線、園生～小倉線の2路線において、計3件の工事に着手しました。							
【達成状況の分析及び課題】							
工事発注手続きを行ったものの一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要し、工事発注時期を見直したため、工事着手が3件となり、目標に対する実績が約43%となったことから、「進展していない」と評価しました。							
【今後の具体的取組】							
入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度 <sup>1</sup> の活用を図るとともに、道路管理者等との協議時期を早めるなど計画的に実施していきます。							
1 フレックス工期契約制度 建設工事の請負契約において、受注者が一定期間の範囲（余裕範囲）内で工事着手日を選択できる契約方式。							

主な事業名		基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
503,007	244,279	114,252	358,531	186,832	49,343	236,175	
達成指標	(カ) 基幹管路の整備の推進			達成状況	達成している		
【R4 年度事業計画】							
既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。令和4年度は、現在実施中である、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。							
【事業の実施状況】							
令和4年度は、各工区の実施設計業務委託等の進捗管理を行い、計画どおり第5工区の実施設計業務委託を完了しました。また、令和3年度に完了に至らなかった第3工区の実施設計業務委託についても完了しました。							
【達成状況の分析及び課題】							
計画していた第5工区の実施設計業務委託の完了により、目標を「達成している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】							
引き続き、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。							

主要施策(2) 災害に強い施設整備の推進

主な取組名 浄・給水場等の耐震化の推進

主な事業名	印旛取水場～柏井浄水場間の調圧水槽の耐震化、船橋給水場配水池の耐震化【浄水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
488,202	488,202	0	488,202	0	361,289	361,289
達成指標	(ア) 設備耐震化工事の実施			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】                  水を送水する際に管の中の圧力を調整している調圧水槽、一時的に貯水し安定した給水を行うための配水池等について、耐震診断および経年劣化等の状況を踏まえた耐震化を進めていきます。                  令和4年度は、印旛系2号調圧水槽耐震補強工事及び船橋給水場1号配水池耐震補強工事に着手します。</p> <p>【事業の実施状況】                  計画通り、印旛系2号調圧水槽耐震化工事及び船橋給水場1号配水池耐震化工事に着手しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】                  事業を計画通り実施したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】                  着手した工事の完成に向け、適切な進捗管理を実施してまいります。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	印旛系2号調圧水槽耐震化工事設計委託の完了	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の完了 印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了		
		船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了			
実績		印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手				
		船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手				

主な取組名 管路の耐震化の推進

主な事業名	鋳鉄管更新工事(再掲)【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
24,400,000(再掲)	24,434,733(再掲)	8,550,859(再掲)	32,985,592(再掲)	22,027,503(再掲)	9,322,459(再掲)	31,349,962(再掲)
達成指標	(イ) 湾岸埋立地域の管路更新延長			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】                  東日本大震災の際に液状化が発生し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、湾岸埋立地域については、大口径管路から分岐している主要な管路等を中心に耐震化を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】                  令和4年度の実績は、計画26.5kmに対し、28.2kmとなりました。                  (目標に対する実績は106.4%)</p> <p>【達成状況の分析及び課題】                  実績が計画を上回っていることから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】                  引き続き、東日本大震災の際に液状化が発生し甚大な被害が生じた、湾岸埋立地域の管路を優先して更新を実施していきます。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	
実績	28.7km /年	28.2km /年				

主な事業名		鑄鉄管更新工事（再掲）【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
24,400,000(再掲)	24,434,733(再掲)	8,550,859(再掲)	32,985,592(再掲)	22,027,503(再掲)	9,322,459(再掲)	31,349,962(再掲)	
達成指標	(ウ) 最重要給水施設管路の更新延長				達成状況	未達成だが進展している	
【R4 年度事業計画】		重要給水施設管路のうち、最重要給水施設に位置づけた「災害拠点病院」及び「災害医療協力病院」並びに「防災拠点」に供給する管路の耐震化を進めます。					
【事業の実施状況】		令和4年度の実績は、計画の6.0kmに対し、4.5kmとなりました。 (目標に対する実績は75%)					
【達成状況の分析及び課題】		工事発注手続きを行ったものの一部入札不調となったことや地元住民との調整に時間を要したことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は75.0%となりましたが、事業は進展していることから「未達成だが進展している」と評価しました。					
【今後の具体的取組】		入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用を図るとともに、地元住民と連絡を密に行うなど、計画的に実施していきます。					
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		2.0km /年	6.0km /年	8.0km /年	8.0km /年	8.0km /年	
実績		1.9km /年	4.5km /年				

主な事業名		鑄鉄管更新工事（再掲）【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
24,400,000(再掲)	24,434,733(再掲)	8,550,859(再掲)	32,985,592(再掲)	22,027,503(再掲)	9,322,459(再掲)	31,349,962(再掲)	
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長（再掲）				達成状況	達成している	
【R4 年度事業計画】		近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。					
【事業の実施状況】		令和4年度の実績は、計画80kmに対し、80.0kmとなりました。 (計画に対する実績は100.0%)					
【達成状況の分析及び課題】		計画に対する達成実績が100.0%となったことから、「達成している」と評価しました。					
【今後の具体的取組】		引き続き、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先して更新していきます。					
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		80km /年	80km /年	80km /年	80km /年	80km /年	
実績		73.5km /年	80.0km /年				

主な事業名		大口径管路更新工事（一拡栗山～船高線他）（再掲）【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
4,573,344(再掲)	3,051,112(再掲)	928,465(再掲)	3,979,577(再掲)	1,369,276(再掲)	2,032,000(再掲)	3,401,276(再掲)	
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施（再掲）			達成状況	進展していない		
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>ダクトイル鑄鉄管 よりも強度が低い高級鑄鉄管 を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。</p> <p>令和4年度は、一拡栗山～船高線、一拡園生～登戸線、一拡船高～園生線、園生～小倉線、藤崎～袖ヶ浦団地線の5路線において、計7件の工事に着手します。</p> <p>ダクトイル鑄鉄管：高級鑄鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。</p> <p>高級鑄鉄管：昭和5年から昭和46年頃まで製造された水道管で、ダクトイル鑄鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。</p> <p>県営水道では、昭和40年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和4年度は、一拡栗山～船高線、園生～小倉線の2路線において、計3件の工事に着手しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>工事発注手続きを行ったものの一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要し、工事発注時期を見直したため、工事着手が3件となり、目標に対する実績が約43%となったことから、「進展していない」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用を図るとともに、道路管理者等との協議時期を早めるなど計画的に実施していきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		3 路線・ 計 5 件の 工事着手	5 路線・ 計 7 件の 工事着手	4 路線・ 計 8 件の 工事着手	4 路線・ 計 8 件の 工事着手	5 路線・ 計 9 件の 工事着手	
実績		2 路線・ 計 2 件の 工事着手	2 路線・ 計 3 件の 工事着手				

主な事業名		基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）（再掲）【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
503,007(再掲)	244,279(再掲)	114,252(再掲)	358,531(再掲)	186,832(再掲)	49,343(再掲)	236,175(再掲)	
達成指標	(カ) 基幹管路の整備の推進（再掲）			達成状況	達成している		
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。令和4年度は、現在実施中である、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和4年度は、各工区の実施設計業務委託等の進捗管理を行い、計画どおり第5工区の実施設計業務委託を完了しました。また、令和3年度に完了に至らなかった第3工区の実施設計業務委託についても完了しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>計画していた第5工区の実施設計業務委託の完了により、目標を「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、各工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		実施設計 業務委託 の完了 (第3工 区)	実施設計 業務委託 の完了 (第5工 区)	実施設計 業務委託 の完了 (第8工 区)	実施設計 業務委託 の完了 (第6工 区・第7 工区)	実施設計 業務委託 の完了 (第4工 区)	
実績		実施設計 業務委託 の着手 (第6工 区・第7 工区)	実施設計 業務委託 の完了 (第3工 区・第5 工区)				

主な取組名 停電・浸水対策等の強化

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 非常用自家発電設備用燃料の確保【浄水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
7,181,362	2,978,262 (2,965,766 再掲)	244,849 (244,849 再掲)	3,223,111 (3,210,615 再掲)	2,463,037 (2,450,541 再掲)	450,615 (450,615 再掲)	2,913,652 (2,901,156 再掲)	
達成指標	(キ) 自家発電設備の増強施設数(再掲)			達成状況	進展していない		
【R4 年度事業計画】 大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強(72時間対応へ)を実施します。 令和4年度は、印旛取水場、高滝取水場、福増浄水場、幕張給水場、沼南給水場、姉崎分場における非常用自家発電設備の増強に係る工事に着手します。  一部再掲 浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備(再掲) 7,168,866(千円)							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		0 施設 /累計 (5 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (6 施設の 工事着手)	13 施設 /累計 (5 施設の 工事着手)	20 施設 /累計 (4 施設の 工事着手)		
実績		0 施設 /累計 (4 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (2 施設の 工事着手)				
【事業の実施状況】 姉崎分場及び令和3年度に着手予定であった木下取水場における非常用自家発電設備の増強工事に着手しました。  【達成状況の分析及び課題】 高滝取水場及び福増浄水場については、入札を行ったものの不調となったことから、未着手となりました。 また、印旛取水場、幕張給水場及び沼南給水場については、関係者との調整に時間を要したことにより、設計業務委託の完了が遅れ、未着手となりました。 以上のことから工事着手件数は2件となり、計画に対する実績は33%となったことから、「進展していない」と評価しました。  【今後の具体的取組】 ここ数年の社会情勢により機器の製作期間が長期化したことから、単年度工事を2か年工事にする等の工程の見直しや上期に発注する等の対応により、入札参加しやすい条件としました。 これらを踏まえ、令和4年度末に令和5年度以降の計画を見直した結果、令和5年度に当初予定していた5施設の工事に、令和4年度に着手できなかった5施設の工事及び令和6年度に発注予定であった4施設の工事の前倒しを加味し、令和5年度中に残る14施設の工事を発注することとしました。引き続き進捗管理を行ってまいります。							

主な事業名		計装設備の電源強化、大型土嚢等の設置、防水扉等の設置【浄水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
145,000	123,571	0	123,571	122,057	0	122,057	
達成指標	(ク) 計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数			達成状況	達成している		
【R4 年度事業計画】 平成30年に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電や令和元年房総半島台風による停電・浸水被害などの状況を踏まえ、非常用自家発電設備の強化及び浸水対策に取り組んでいきます。 令和4年度は、高滝接合井、船葛系減圧弁及び水槽(東寺山高架水槽/坂月高架水槽/白井高架水槽/姉崎調圧水槽)における計装設備の電源強化に係る工事を実施します。  【事業の実施状況】 計画どおり計装設備の電源強化工事が完了しました。  【達成状況の分析及び課題】 事業を計画どおり実施したことから、「達成している」と評価しました。  【今後の具体的取組】 令和4年度に事業を完了しました。							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		3 施設 /累計	9 施設 /累計				
実績		3 施設 /累計	9 施設 /累計				

主要施策(3) 危機管理体制の充実

主な取組名 緊急時に備えた体制の充実

主な事業名		非常時対応訓練の実施【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
180	180	0	180	21	0	21	
達成指標	非常時対応訓練の実施 (ア) テーマ型訓練の実施 支援協力員との応急給水訓練の実施				達成状況	達成している	
【R4 年度事業計画】							
<p>「非常時対応訓練」については、1回目として年度当初に新体制で、初動対応を確認する訓練を行い、2回目として下半期に、初動対応から対策本部及び現地本部の立上げ、本部会議の運営、情報収集伝達、応急給水・応急復旧の計画作成等、震災対応の一連の訓練を行うことで、災害対応力の向上を図ります。</p> <p>なお、総務企画課と連携しながら、訓練内容の検討を行います。</p> <p>「テーマ型訓練」については、各所属が独自にテーマ(停電対応、応急給水等)を定めて実施します。</p> <p>「支援協力員との応急給水訓練」については、「千葉県企業局水道事業災害時支援協力員制度」に登録している支援協力員を対象として、地震発生時等に、迅速かつ効果的な活動が実施できるよう、応急給水訓練等を実施します。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	非常時対応訓練	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	
	テーマ型訓練	112回/年	112回/年	112回/年	112回/年	112回/年	
	支援協力員訓練	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
実績	非常時対応訓練	2回/年	2回/年				
	テーマ型訓練	129回/年	120回/年				
	支援協力員訓練	1回/年	1回/年				
【事業の実施状況】							
<p>「非常時対応訓練」については、6月と11月に計2回の訓練を実施することにより、災害対応力の向上を図りました。</p> <p>「テーマ型訓練」については、給水車や仮設給水栓、折り畳み式給水タンクを活用した応急給水訓練の他、情報伝達訓練、停電対応訓練、自家発電設備の操作訓練等を120回実施し、災害対応力の向上を図りました。</p> <p>「支援協力員との応急給水訓練」については、ちば野菊の里浄水場において給水車注水作業や、仮設給水栓の組立等、実践的な訓練を実施し、地震発生時等における支援協力体制を強化しました。</p>							
【達成状況の分析及び課題】							
令和4年度における訓練の達成状況は、いずれも計画回数を達成しているため、「達成している」としました。							
【今後の具体的取組】							
令和5年度も非常時対応訓練の実施により、災害対応力を向上させるとともに、テーマ型訓練、支援協力員訓練による実践的な訓練に取り組むことで、緊急時に備えた体制を強化してまいります。							

主な事業名		本局新庁舎の建設【財務課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
139,834	134,036	0	134,036	134,034	0	134,034	
達成指標	(イ) 本局新庁舎(仮称)の建設				達成状況	達成している	
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  本局新庁舎の建設については、前年度に引き続き実施設計業務を進めるとともに、工事が近隣の家屋等に与える影響を把握するために、家屋調査を行います。                  実施設計の完了後は建設工事の発注準備を進め、令和4年度中に建設工事に着手します。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  実施設計業務は、計画どおり令和4年10月に完了しました。                  家屋調査業務は、計画どおり令和5年2月に完了しました。                  建設工事は、計画どおり発注し令和5年3月に契約を締結、着手しました。</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  令和4年度の計画をすべて達成したため、「達成している」と評価しました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  今後は、令和7年度の供用開始を目指して建設工事の適正な進捗管理を行っていくことを計画しています。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		基本設計の完了 実施設計の着手	実施設計の完了 建設工事の着手	建設工事の適正な進捗管理	建設工事の適正な進捗管理		新庁舎の供用開始
実績		基本設計の完了 実施設計の着手	実施設計の完了 建設工事の着手				

主な取組名 給水区域内11市等関係機関との連携強化

主な事業名		応急給水等連絡調整会議の定期的な開催【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標	(ウ) 応急給水等連絡調整会議の実施				達成状況	達成している	
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、各市との連絡調整及び情報交換等を行うとともに、令和元年房総半島台風等の教訓を踏まえた対応策に基づく役割分担等を再確認します。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  給水区域内11市との「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を5月に開催することにより、相互の役割分担等を再確認し、連携強化を図りました。</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  連絡調整会議を実施したことから、「達成している」としました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  引き続き給水区域内11市と「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、当局と11市の役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
実績		1回/年	1回/年				

主な事業名		給水区域内各市との合同訓練の実施、給水区域内各市が開催する合同訓練への参加【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(工) 給水区域内各市との合同訓練の実施				達成状況	達成している	
【R4 年度事業計画】							
<p>「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、令和元年房総半島台風等の対応を教訓とし、県営水道給水区域内 11 市との連携強化を図るため、「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」での意見交換を踏まえた迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等に関する訓練を実施します。</p> <p>「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、震災時に連携して迅速な応急活動が実施できるよう、給水区域内各市が開催する防災訓練に参加し、応急給水等の訓練を行います。</p> <p>なお、達成指標は、「給水区域内各市との合同訓練の実施」を対象とします。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	
実績		11 回/年	11 回/年				
【事業の実施状況】							
<p>「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、迅速な情報共有や応急給水等の訓練を7月に11市と共に実施することにより、連携強化を図りました。</p> <p>「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、千葉市での九都県市合同防災訓練に参加したほか、浦安市総合防災訓練や白井市との情報伝達訓練及び緊急連絡管接続を用いた訓練などに参加しました。</p>							
【達成状況の分析及び課題】							
給水区域内各市との合同訓練を実施したことから、「達成している」としました。							
【今後の具体的取組】							
引き続き、給水区域内各市との合同訓練を通じて、迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。							

基本目標 2 「安全」な水の供給

主要施策 (4) 安全で安心な水づくり

主な取組名 水源の監視・保全

主な事業名		水源の水質調査等の実施【浄水課】																							
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																					
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計																			
16,735	15,004	0	15,004	15,004	0	15,004																			
達成指標		(ア) 水源調査回数			達成状況		達成している																		
【R4 年度事業計画】		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>390 回 以上/年</td> <td>390 回 以上/年</td> <td>390 回 以上/年</td> <td>390 回 以上/年</td> <td>390 回 以上/年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>535 回/ 年</td> <td>538 回/ 年</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							R3	R4	R5	R6	R7	計画	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	実績	535 回/ 年	538 回/ 年			
	R3	R4	R5	R6	R7																				
計画	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年																				
実績	535 回/ 年	538 回/ 年																							
<p>当局的水道水源である江戸川、利根川、印旛沼、高滝ダム湖とそれらの主な流入河川及び手賀沼の計 34 か所について毎月水質調査を実施するとともに、必要に応じて臨時調査を実施します。</p> <p>【事業の実施状況】 水道水源等の定期的な水質調査を 390 回実施しました。また、令和4年度は春期、夏期のかび臭物質濃度上昇、夏期の魚卵発生、などの水源水質の悪化や油の流出などの水質事故が発生したことから、臨時調査を 148 回実施し、水源調査回数の合計は 538 回となりました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 定期調査に加え適宜臨時調査を実施し、その結果をもとに粉末活性炭の注入率を調整するなど適切な浄水処理を行うことができたことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、水道水源とそれらの主な流入河川等について定期的な水質調査を実施するとともに、水源での水質異常時には必要に応じて臨時調査を実施します。</p>																									

主な事業名		関係機関と連携した監視体制の確保、印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会等への参加【浄水課】																		
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計														
0	0	0	0	0	0	0														
達成指標		-			達成状況		-													
【R4 年度事業計画】		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td colspan="5" rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>							R3	R4	R5	R6	R7	計画	/					実績
	R3	R4	R5	R6	R7															
計画	/																			
実績																				
<p>関係機関と水源水質や事故情報の情報共有により、監視体制の確保を進めます。</p> <p>印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会へ参加し、水源の水質保全に努めます。</p> <p>【事業の実施状況】 各協議会を通じて、水源河川等で水質事故が発生した場合の連絡体制を確保するとともに、国や関係市町村に対して水源保全の推進に関する要望活動を行いました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き水源の水質保全に向けて各協議会に参加するとともに、関係機関と連携し水源の監視体制を確保します。</p>																				

主な取組名 高度浄水処理の導入

主な事業名		ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業(再掲)【計画課】							
R4年度予算額(千円)				R4年度決算額等(千円)					
R4当初予算	R4最終予算	R3 R4繰越	計	決算額	R4 R5繰越	計			
4,765,970(再掲)	4,081,342(再掲)	5,503,553(再掲)	9,584,895(再掲)	8,147,663(再掲)	1,362,492(再掲)	9,510,155(再掲)			
達成指標		(イ)ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備の推進(再掲)			達成状況		達成している		
【R4年度事業計画】 ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業については、これまでに発注した機械・電気設備工事等の着実な進捗を図るとともに、洗浄排水池機械設備工事の完成など、令和5年度の稼働に向け、工程管理を適切に行ってまいります。					R3	R4	R5	R6	R7
【事業の実施状況】 浄水場の主要設備である洗浄排水池機械設備工事等が完成しました。また、これまでに着手した自家発電設備工事等や新たに着手した場内整備工事等を進めました。					計画	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働		
【達成状況の分析及び課題】 洗浄排水池機械設備工事の完成により、目標を「達成している」と評価しました。					実績	洗浄排水池機械設備工事の完成			
【今後の具体的取組】 令和5年度中の稼働に向け、引き続き場内整備工事等の進捗管理を行うとともに、試運転を確実に進めてまいります。									

主な取組名 水質管理の徹底

主な事業名		水安全計画の見直し【浄水課】							
R4年度予算額(千円)				R4年度決算額等(千円)					
R4当初予算	R4最終予算	R3 R4繰越	計	決算額	R4 R5繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標		(ウ)水安全計画の見直しの実施			達成状況		達成している		
【R4年度事業計画】 様々な化学物質等による水源水質の異常に対応する管理体制等を予め定めた水安全計画 について見直しを行い、発生が予測されるリスクへの対応を強化します。 水安全計画 水源から給水栓に至る全ての段階において、水道水質に悪影響を及ぼす恐れのある危害の原因を明確にし、危害原因を排除するため、重点的かつ継続的に監視を行うべき重要管理点（工程）をあらかじめ定め、管理することで、水の安全性を一層高いレベルで確保する水道システムの管理手法。					R3	R4	R5	R6	R7
【事業の実施状況】 水安全計画の運用及び評価を行った結果、計画の修正が必要となる事態は発生しなかったため、統計データの時点修正等軽微な修正を実施しました。					計画	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し
【達成状況の分析及び課題】 水安全計画に基づき水質監視及び水質管理を行った結果、水道水質基準を超過する事態は発生しなかったことから「達成している」と評価しました。					実績	水安全計画の見直し			
【今後の具体的取組】 引き続き、水安全計画を適切に運用し、運用に伴い発生する課題等については必要な見直しを実施します。									

主な事業名		水道GLPの認定の更新【浄水課】					
R4年度予算額(千円)				R4年度決算額等(千円)			
R4当初予算	R4最終予算	R3 R4繰越	計	決算額	R4 R5繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(工)水道GLPの認定維持				達成状況	達成している	
<p><b>【R4年度事業計画】</b>                  水道GLPを適正に運用し、水質検査の信頼性を確保します。                  水道GLP(水道水質検査優良試験所規範)                  公益社団法人日本水道協会が認定する、水道事業者の水質検査部門及び登録検査機関を対象とした、水道水質検査結果の精度と信頼性を確保するための要求事項。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  水道GLPに基づき、水質センター職員に対する教育訓練や精度管理、内部監査を実施したほか、(公社)日本水道協会による2年毎の中間審査を実施し、適正に運用されていることを確認しました。</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  (公社)日本水道協会による中間審査の結果、認定維持が承認されたことから、「達成している」と評価しました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  引き続き、水道GLPの適正を運用し、運用に伴い発生する課題等については必要な見直しを実施します。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の更新	水道GLPの認定の維持・継続	
実績		水道GLPの認定の維持・継続	水道GLPの認定の維持・継続				

主な事業名		水質検査計画の見直し【浄水課】					
R4年度予算額(千円)				R4年度決算額等(千円)			
R4当初予算	R4最終予算	R3 R4繰越	計	決算額	R4 R5繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(オ)水質検査計画の見直しの実施				達成状況	達成している	
<p><b>【R4年度事業計画】</b>                  水質基準の改正等を踏まえた水質検査計画の更新を行います。                  水質検査計画                  水質検査の項目・場所・頻度のほか、水源の水質状況や、浄水処理で問題となる項目や原因などを記載したもの。水道法施行規則第15条第6項において、水道事業者が策定することが義務付けられている。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  農薬類2項目の検査体制を整え検査項目に追加するなど必要な見直しを行い、水質検査計画を令和5年度版に更新しました。</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  令和5年度は、水質基準項目等、法に定められた項目に加え、水質管理上重要な項目や維持管理上必要な項目など計219項目を検査対象とし、水質検査計画の適切な更新を行ったことから、「達成している」と評価しました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  引き続き、水質基準の改正等の国の通知や対象物質の検出状況を踏まえ、毎年度必要な見直しを実施します。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	
実績		水質検査計画の更新	水質検査計画の更新				

主な事業名		水質検査機器の更新【浄水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
166,848	126,764	0	126,764	125,839	0	125,839	
達成指標		(カ) 水質検査機器の更新の実施			達成状況		達成している
<p>【R4 年度事業計画】 経年劣化等により検査精度を確保できなくなるおそれのある水質検査機器の更新等を行います。</p> <p>【事業の実施状況】 予定していた31台に加え、令和3年度に更新できなかった8台の水質検査機器を更新しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 調達に関する事務を前倒しで実施した結果、予定していた機器に加え、令和3年度に更新できなかった機器を更新することができたことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 機器の調達に時間を要する事態が今後も継続することが予想されるため、計画どおりに更新できるよう調達に関する事務を前倒しで実施していきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		水質検査機器 21 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 31 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 30 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 33 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 23 台の整備 (更新・新規)	
実績		水質検査機器 13 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 39 台の整備 (更新・新規)				

主な事業名		水質自動監視装置の更新【浄水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標		(キ) 水質自動監視装置の更新の実施			達成状況		達成している
<p>【R4 年度事業計画】 水質自動監視装置 (38台)の更新に向け、手続きを進めていきます。 水質自動監視装置 日常の水質監視業務に加えて、濁り水の発生などの水質の変化を常時把握し、異常時に速やかに対応するため、給水区域の管路末端に設置している。</p> <p>【事業の実施状況】 水質自動監視装置の更新工事について、契約を締結し、着手しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 計画どおり水質自動監視装置の更新工事に着手したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 令和5年度中の更新工事の完了に向けて、引き続き進捗管理を行っていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		-	水質自動監視装置 38 台の更新着手	水質自動監視装置 38 台の更新完了	-	-	
実績		-	水質自動監視装置 38 台の更新着手				

主な事業名		送・配水管の計画的な洗浄【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
216,379	216,379	0	216,379	196,038	0	196,038	
達成指標	(ク)送配水管の計画洗浄延長				達成状況	達成している	
【R4 年度事業計画】		長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年1,000km実施します。					
【事業の実施状況】		令和4年度の実績は、計画1,000kmに対し、1,382kmとなりました。(目標に対する実績は、138%)					
【達成状況の分析及び課題】		送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから、「達成している」と評価しました。					
【今後の具体的取組】		引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。					
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	1,000km	1,000km	1,000km	1,000km	1,000km	1,000km	
	/年	/年	/年	/年	/年	/年	
実績	1,381km	1,382km					
	/年	/年					

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進【給水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
38,771	38,771	0	38,771	26,408	0	26,408	
達成指標	(ケ)貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率				達成状況	達成している	
【R4 年度事業計画】		集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス(啓発及び希望者への点検等)により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。					
【事業の実施状況】		令和3年度から令和7年度までの5か年の対象貯水槽約12,000箇所のうち、令和4年度は約2,300箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。					
【達成状況の分析及び課題】		啓発実施率及び直結給水率ともに、計画を達成したため、「達成している」と評価しました。					
【今後の具体的取組】		引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。					
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	啓発実施率	23%	42%	61%	81%	100%	
	直結給水率	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%	
実績	啓発実施率	23%	43%				
	直結給水率	75.7%	76.2%				

主要施策(5) おいしい水の供給

主な取組名 おいしい水の技術的な取組

主な事業名	残留塩素低減化試験の実施、塩素多点注入方式の導入【計画課】																							
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																				
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計																		
16,467	8,518	0	8,518	8,517	0	8,517																		
達成指標	(ア) 残留塩素の低減化試験等の実施			達成状況	達成している																			
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>水道水の安全性を確保しながら、水道水のおいしさを損なう原因となる残留塩素を低減するための試験を実施します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和3年度に引き続き、柏井浄水場及び園生給水場の配水区域で残留塩素低減化試験を実施しました。</p> <p>北総浄水場・成田給水場配水区域の残留塩素の低減を図るため、成田給水場関連設備更新工事に併せて塩素注入点を整備しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>残留塩素低減化試験を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>お客様に安全でおいしい水をお届けするため、引き続き残留塩素の低減に向けた取組を推進します。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>低減化試験の実施</td> <td>低減化試験の実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	実績	低減化試験の実施	低減化試験の実施			
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施																			
実績	低減化試験の実施	低減化試験の実施																						

主な事業名	送・配水管の計画的な洗浄(再掲)【給水課】																							
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																				
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計																		
216,379(再掲)	216,379(再掲)	0(再掲)	216,379(再掲)	196,038(再掲)	0(再掲)	196,038(再掲)																		
達成指標	(イ) 送配水管の計画洗浄延長(再掲)			達成状況	達成している																			
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年1,000km実施します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和4年度の実績は、計画1,000kmに対し、1,382kmとなりました。(目標に対する実績は138%)</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> <td>1,000km /年</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,381km /年</td> <td>1,382km /年</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	実績	1,381km /年	1,382km /年			
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年																			
実績	1,381km /年	1,382km /年																						

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進（再掲）【給水課】				
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
38,771(再掲)	38,771(再掲)	0(再掲)	38,771(再掲)	26,408(再掲)	0(再掲)	26,408(再掲)
達成指標	(ウ) 貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率（再掲）			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。</p> <p>令和3年度から令和7年度までの5か年の対象貯水槽約12,000箇所のうち、令和4年度は約2,300箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>啓発実施率は計画42%に対し、実績は43%となりました。</p> <p>直結給水率は計画76.0%に対し、実績は76.2%となりました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>啓発実施率及び直結給水率ともに、計画を達成したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	啓発実施率	23% (累計)	42% (累計)	61% (累計)	81% (累計)	100% (累計)
	直結給水率	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%
実績	啓発実施率	23% (累計)	43% (累計)			
	直結給水率	75.7%	76.2%			

主な取組名 おいしい水のお客様との取組

主な事業名		水道出前講座の開催、オフィシャルサイトの更新【計画課】				
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
10,299	11,852	0	11,852	11,315	0	11,315
達成指標	(エ) イベント等PR活動の実施			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>小学校などに出向いて、紙芝居や浄水処理実験などを通じて安全でおいしい水をPRする「水道出前講座」を開催します。</p> <p>水のおいしいクイズや水質検査体験募集の掲載など、おいしい水づくりオフィシャルサイトの更新を適宜実施します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>水道出前講座は、新型コロナウイルス等の感染防止対策を行った上で、一年を通じて51回開催し、2,976人の方に受講いただきました。</p> <p>オフィシャルサイトの更新については、水のおいしいクイズを毎月出題するとともに、ポタリちゃんの大冒険の動画を掲載するなど、水道水の安全性やおいしさをお客様に理解していただけるよう積極的な広報を心掛けました。また、水質検査体験やおいしい水検定などの募集を掲載しお客様にご参加いただけるようPRしました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>水道出前講座とオフィシャルサイトの更新を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>安全でおいしい水をPRする水道出前講座を継続するとともに、お客様に水道水の安全性やおいしさについて理解していただけるようオフィシャルサイトの充実を図っていきます。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施
	実績	イベント等PR活動の実施	イベント等PR活動の実施			

主な事業名		水質検査体験の実施、おいしい水検定の実施、おいしい水懇話会の開催【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
1,934	1,049	0	1,049	971	0	971	
達成指標	(オ) 水質検査体験/おいしい水検定/おいしい水懇話会 実施・開催回数			達成状況	達成している		
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  ご応募いただいたお客様に簡易水質検査キットを送付し、お客様ご自身でお客様宅の水道水の水質検査を実施し、測定結果や水道水のアンケートにお答えいただく「水質検査体験」を実施します。                  ご応募いただいたお客様に、オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水全般に関する問題を解いていただくことで、水道水の理解を深めていただく「おいしい水検定」を実施します。                  安全でおいしい水づくりについて、客観的なご意見やご要望を得るため、お客様や学識経験者で構成される「おいしい水懇話会」を開催します。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	水質検査体験	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
	おいしい水検定	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
	おいしい水懇話会	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	
実績	水質検査体験	1回/年	1回/年				
	おいしい水検定	1回/年	1回/年				
	おいしい水懇話会	2回/年	2回/年				
<p><b>【事業の実施状況】</b>                  「水質検査体験」では333名、「おいしい水検定」では446名のお客様にご参加いただき、水道水の安全性やおいしい水づくりへの取組等について理解を深めていただきました。                  「おいしい水懇話会」を8月と1月に開催し、安全でおいしい水づくりの取組について意見を頂きました。</p>							
<p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  水質検査体験、おいしい水検定、おいしい水懇話会を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。</p>							
<p><b>【今後の具体的取組】</b>                  今後も、「水質検査体験」、「おいしい水検定」など水道水についての理解を深めて頂く取組を継続します。また「おいしい水懇話会」等を通じて、お客様からご意見・ご要望などをいただきながら、「安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025」を推進していきます。</p>							

基本目標3 お客様からの「信頼」の確保

主要施策(6) お客様サービスの向上

主な取組名 支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等

主な事業名	支払方法の多様化、手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等【業務振興課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
147,234	160,517	0	160,517	152,932	0	152,932
達成指標	(ア) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>「ICT等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、水道料金等のクレジットカード払いを年度内に開始するため、指定納付受託者との調整、料金システム等の改修、お客様への周知等を行います。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>令和5年1月から水道料金等のクレジットカード払いを開始しました。</p> <p>また、キャッシュレス化促進事業として、インターネット広告や電車内窓上広告の掲載、キャラバンイベント等を実施し、お客様へキャッシュレス決済の利用を周知しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>令和4年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き令和5年度中の口座振替申込み Web 受付の導入に向け、受託者を選定し、サイトの構築やシステムの改修等を実施してまいります。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	オンライン受付機能追加	オンライン受付利用の普及	
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入				

主な取組名 「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実）

主な事業名	アンケート調査の実施【業務振興課】																							
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																				
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計																		
2,436	1,464	0	1,464	1,375	0	1,375																		
達成指標	(イ) アンケート情報収集割合			達成状況	未達成だが進展している																			
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  給水人口 1,000 人あたりの、1 年間に実施したアンケート調査への回答人数の割合 (= 情報収集割合) が所定の数を上回ることを計画の目標としています。                  これを達成するため、県営水道利用者から選出した 600 名のモニターに対してインターネット上で年 4 回のアンケート調査を行うほか、まちかど水道コーナーのイベント来場者や浄水場見学会の参加者に対し、アンケート調査を実施します。また、電子申請サービスを活用したインターネットアンケート調査等を実施し、常時お客様からの意見を聴取できる体制を維持します。</p>																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> <td>1.87 人/ 千人 (年)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.91 人/ 千人(年)</td> <td>0.94 人/ 千人(年)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								R3	R4	R5	R6	R7	計画	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	実績	0.91 人/ 千人(年)	0.94 人/ 千人(年)			
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)	1.87 人/ 千人 (年)																			
実績	0.91 人/ 千人(年)	0.94 人/ 千人(年)																						
<p><b>【事業の実施状況】</b>                  インターネットモニターによるアンケート調査（4 回）、まちかど水道コーナーアンケート（市川水道事務所のみ）、ちば電子申請サービスを活用したちば県水 Web アンケート等を実施しました。</p>																								
<p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  浄水場見学会、まちかど水道コーナーのイベントが新型コロナウイルスの影響で中止となったことにより、見込んでいたアンケート調査が実施できず、計画よりも実績が下回る結果となりました。そのため、「未達成だが進展している」と評価しました。</p>																								
<p><b>【今後の具体的取組】</b>                  今後も継続してインターネットモニターによるアンケート調査を実施するほか、令和 5 年度以降はイベントが順次再開される見込みのため、各種イベントでアンケートを実施していきます。</p>																								

主な事業名		「お客様の声」の集計・分析及び各所属へのフィードバック【業務振興課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ウ)業務改善数				達成状況	達成している	
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  広聴相談窓口などを通じて寄せられる様々な「お客様の声」を迅速かつ的確に集計・分析し、速やかに関係部門にフィードバックして活用することにより、「お客様の声」を事業運営に役立てていきます。                  また、職員自ら発案することによっても、お客様の満足度を向上できるように、現在の業務のやり方を改善していきます。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  水道料金支払い方法の拡充(クレジットカード支払いの導入)、受付ミス(口座継続漏れ)の再発防止、県営水道ホームページの緊急情報のページの改良、ポタリちゃん Twitter の内容の刷新、管路情報の Web 閲覧(千葉県営水道 管路情報閲覧システムの導入)の計5件について、業務改善を行いました。</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  令和4年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  今後もお客様の声を事業運営に役立てていくとともに、職員自ら発案する等の方法により、業務改善を行ってまいります。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	
実績		5 業務 /年	5 業務 /年				

主な事業名		新たな広聴手段の検討【業務振興課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	0
達成指標	-				達成状況	-	
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  お客様の視点に立った水道事業の運営のためには、お客様の求めていることを的確に把握することが不可欠であることから、現在の広聴相談窓口(県水お客様センターや水道事務所での電話受付、県庁HPでのメール受付等)及び各種アンケート調査に加えて、時代の流れに即した新たな広聴手段を検討します。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  令和3年度に策定した「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」で令和7年度に稼働することとしているマイポータルなどを新たな広聴手段として活用する検討を行いました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  マイポータルを活用する新たな広聴手段の実施に向け、引き続き検討を進めていきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	/						
実績							

主な事業名	県水だよりやホームページの内容充実、各種媒体（新聞、テレビ、ラジオ、SNS など）を用いた広報【総務企画課】【業務振興課】																							
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																				
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計																		
46,612	42,412	0	42,412	40,980	0	40,980																		
達成指標	(工) 広報活動の改善状況			達成状況	達成している																			
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  広報紙「県水だより」について、各所属の意見を取りまとめ、その時に発信すべき情報を掲載するとともに、お客様の要望を踏まえた記事の掲載や、写真を使用した紙面作りなどの創意工夫を行い、内容の充実を図ります。                  千葉県営水道ホームページについて、見出し項目の整理やコンテンツの見直しを行い、わかりやすいホームページ作りに取り組みます。                  千葉県営水道公式 Twitter において、当局の事業やイベント等の情報を積極的に発信するとともに、新聞、テレビ、ラジオなど各種広報媒体を効果的に組み合わせた広報活動を実施します。                  また、令和3年度における県営水道の事業概要と関係資料を取りまとめた「水道事業年報」や、環境施策の取組と成果について取りまとめた「環境報告書」などを作成し、水道事業に対するお客様のご理解とご協力を得ることを目指します。</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td>お客様の要望を踏まえた広報活動の改善</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				R3	R4	R5	R6	R7	計画	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	実績	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善			
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善																			
実績	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善																						
<p><b>【事業の実施状況】</b>                  ・「県水だより」においては、お客様の要望を踏まえた記事の掲載や、写真を大きく使用した紙面づくりなどの創意工夫を実施しました。                  ・「ホームページ」においては、レイアウトの見直しなどにより、わかりやすいホームページづくりを実施しました。                  ・「千葉県営水道公式 Twitter」においては、より多くのお客様に当局の水道水や事業についてお伝えするため、イベントに関する情報を中心に様々な情報を発信しました。(アカウント名：ポタリちゃん (@potarichan))                  ・対面で実施するイベントについては、各々状況に応じて見送りあるいは再開の対応を取りました。                  ・「水道事業年報」においては、作成、配布、ホームページでの公表を実施しました。                  ・「環境報告書」においては、ホームページでの公表を実施しました。</p>																								
<p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  お客様の要望を踏まえた「県水だより」及び「ホームページ」の改善と Twitter による情報発信を実施したことに加え、新聞、テレビ、ラジオなどの他媒体を用いた広報活動を効果的に実施したため、「達成している」と評価しました。</p>																								
<p><b>【今後の具体的取組】</b>                  既存の「県水だより」、「ホームページ」及び「公式 Twitter」等を活用し、広報の創意工夫を続けながら、必要な情報の発信に努めます。</p>																								

主な事業名		災害時における適切な情報発信【業務振興課】																		
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計														
0	0	0	0	0	0	0	0													
達成指標	-				達成状況	-														
【R4 年度事業計画】		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td colspan="5" rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>							R3	R4	R5	R6	R7	計画	/					実績
	R3	R4	R5	R6	R7															
計画	/																			
実績																				
<p>災害が発生した場合、「企業局水道事業震災対策基本計画」等に基づき、必要に応じて、新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミへの情報提供や、ホームページへの掲載等による広報活動を行うと同時に、住民からの情報提供や問い合わせ等に対し、適切な広聴活動を行います。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>給水区域内において停電等が発生した際、千葉県営水道ホームページ内「緊急情報ページ」や「Twitter」を活用した情報提供を行いました。また、災害がない場合でも、緊急時に役立つ情報を常時掲載するよう内容を見直しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>令和5年度は、さらに「Twitter」及び「ホームページ」の活用を進めるとともに、関係課と連携し、災害時に、より速やかに情報提供ができる体制を構築してまいります。</p>																				

主要施策(7) 大規模事業体の責務と社会貢献

主な取組名 県内水道の統合・広域連携

主な事業名	九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合に向けた協議、 県営水道給水地域の水道事業の在り方に関する協議【総務企画課】									
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)						
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計				
0	0	0	0	0	0	0				
達成指標	-			達成状況						
【R4 年度事業計画】	<p>県(知事部局)が推進する九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合について、引き続き関係機関と連携しながら、統合に向けた協議を進めます。</p> <p>県(知事部局)を中心に検討している県営水道給水地域の水道事業の在り方について、引き続き当該地域の水道事業体等と連携しながら、検討を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合については、令和4年4月に設置された「九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会」に当局も参画し、令和5年1月の協議会において統合基本計画骨子素案が承認されました。</p> <p>県営水道給水地域の水道事業の在り方については、令和5年3月に県(知事部局)において、水道事業者等の広域的な連携を推進することを目的として「千葉県広域化推進プラン」が策定されました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合については、「九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会」に参画し、引き続き、統合に係る協議を進めてまいります。</p> <p>県営水道給水地域の水道事業の在り方については、引き続き、県(知事部局)を中心に当該地域の水道事業体等と連携しながら、「千葉県広域化推進プラン」における今後の広域化に係る推進方針に基づき検討を進めてまいります。</p>					R3	R4	R5	R6	R7
計画										
実績										

本取組の検討主体は知事部局であることから、評価の対象からは除外します。

主な取組名 環境負荷の低減に向けた取組

主な事業名	水運用の効率化、マイクロ水力発電設備、太陽光発電設備の安定的な運用【浄水課】									
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)						
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計				
40,816	41,799	0	41,799	40,909	0	40,909				
達成指標	(ア) 再生可能エネルギー発電設備活用による発電量			達成状況	達成している					
【R4 年度事業計画】	<p>配水量の少なくなる夜間における給水ポンプ運転停止等による水運用の効率化や、幕張給水場等に導入したマイクロ水力発電設備、ちば野菊の里浄水場に導入した太陽光発電設備の安定的な運用に取り組むことで、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を目指します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>マイクロ水力発電及び太陽光発電を安定的に運用したことにより、令和4年度の発電量は目標の4,200千kWhを上回る4,499千kWhを達成しました。(一般家庭約1,049戸分に相当)</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備による発電量は目標を達成したため、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備の安定的な運用により、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を図ります。</p>					R3	R4	R5	R6	R7
計画						4,200千kWh以上	4,200千kWh以上	4,056千kWh以上	4,329千kWh以上	4,329千kWh以上
実績	4,526千kWh	4,499千kWh								

主な事業名		資源リサイクルの実施【計画課・浄水課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
352,799	352,799	0	352,799	298,211	0	298,211	
達成指標	(イ) 浄水発生土の再資源化率【浄水課】 再利用率可能な建設発生土・建設副産物の再資源化率【計画課】				達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>浄水処理工程において発生する浄水発生土については、セメント原料等として再資源化します。                  管路更新工事等において発生する建設発生土については、条件に適合するものは埋め戻し用土として再資源化していきます。                  管路更新工事等において発生するアスファルト塊及びコンクリート塊については、舗装材等として、再資源化していきます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>浄水発生土は、18,771 トンを全量セメント原料として再資源化しました。                  建設発生土については、湾岸埋立地域等で発生する含水率が高く再資源化が困難なものを除いた 78,074 m<sup>3</sup>を全量埋め戻し用土として再資源化しました。                  建設副産物(アスファルト塊及びコンクリート塊)については、84,146 トンのうち再資源化が困難な 0.3 トンを除き、舗装材等として再資源化しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>計画通り再資源化を実施したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>浄水発生土については、セメント原料等として引き続き全量を再資源化していきます。                  管路更新工事等において発生する建設発生土については、再資源化の条件に適合するものは埋め戻し用土として利用するとともに、アスファルト等の舗装材及びコンクリート塊については、舗装材等として引き続き再資源化していきます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	100%	
	建設発生土	100%	100%	100%	100%	100%	
	建設副産物	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	
実績	浄水発生土	100%	100%				
	建設発生土	100%	100%				
	建設副産物	100%	100%				

主な取組名 国際貢献及び他事業体への技術支援

主な事業名	開発途上国への技術支援【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(ウ) 海外水道事業体への技術支援			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>JICAの要請を受け平成24年度から行っている東ティモール民主共和国への技術支援や、海外水道事業の研修生を対象とした研修への協力等を実施します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>JICAからの要請を受け、令和4年12月から2年間の任期中で職員1名を東ティモール民主共和国に派遣するなど、技術支援を行いました。</p> <p>また、JICAが主催している海外水道事業の研修生を対象とした研修に、講師として職員を派遣し、水質管理等の講義及び実習を行いました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>職員の長期派遣による東ティモール民主共和国への技術支援等を行ったこと及び海外水道事業の研修生を対象とした研修に講師を派遣し協力を行ったことから、評価を「達成している」としました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>JICA等の要請に応じて東ティモール民主共和国への技術支援や海外研修生を対象とした研修に協力し、国際貢献を引き続き実施していきます。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施	技術支援 の実施
実績	技術支援 の実施	技術支援 の実施				

主な事業名	水道技術研修の開放による技術支援【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	(エ) 県内水道事業体へ開放する研修講座数			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>千葉県企業局が行っている水道技術研修について、引き続き当局主催の4講座を県内の全ての水道事業体及び用水供給事業体へ開放し、技術向上を支援します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>当局主催の水道技術研修のうち4講座を、県内すべての43事業体に開放し、24事業体から延べ61名が参加しました。</p> <p>開放した4講座は、「送配水管工事研修（工事の基礎）」、「浄水処理技術研修」、「水質管理研修」及び「技術講座研修」です。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>当局主催の水道技術研修を4講座開放し、県内水道事業体の技術向上を支援したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の 具体的取組】</p> <p>引き続き、県内全ての水道事業体及び用水供給事業体に、県営水道が行っている水道技術研修（4講座）を開放し、技術向上を支援します。</p>						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	4講座 /年	4講座 /年	4講座 /年	4講座 /年	4講座 /年	4講座 /年
実績	3講座 /年	4講座 /年				

主要施策(8) 運営基盤の強化

主な取組名 職員の育成・確保及び能力開発

主な事業名	水道技術者を育成するための技術研修の実施【計画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
8,641	8,313	0	8,313	8,313	0	8,313
達成指標	(ア) 技術研修等講座数			達成状況	達成している	
<p>【R4 年度事業計画】 「実践的な技術研修の実施」による技術継承の推進を図るため、千葉県企業局水道技術研修の各講座や、体験を通じて技術を習得する体験型技術研修を実施します。</p> <p>【事業の実施状況】 水道技術研修計画(第4次)に基づき、基礎研修 11 講座、実務研修 11 講座、体験型研修 4 講座の計 26 講座を実施し、延べ 586 名が受講しました。</p> <p>【達成状況の分析及び課題】 水道技術研修計画(第4次)に基づき、全ての講座を実施したことに加え、実務研修では「船橋給水場工事見学」等の見学による研修を 4 講座実施したことにより、目標の 22 講座を上回る 26 講座を実施したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】 引き続き、水道事業の運営に必要な専門的な知識・経験を有する技術職員の継続的な育成のため、実践的な研修を実施し、技術の継承と技術職員のレベルアップに取り組みます。</p>						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年
実績	22 講座 /年	26 講座 /年				

主な事業名		役職や担当業務に応じた効果的な研修、OJT基本計画に基づく組織的なOJTの実施【総務企画課】 接客マナーの向上に向けた取組【業務振興課】																						
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																				
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計																		
11,511	8,406	0	8,406	7,324	0	7,324																		
達成指標	(イ)人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善				達成状況	達成している																		
【R4 年度事業計画】		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td colspan="5">局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施(毎年度)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>局独自の研修の継続(1研修不開催)より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施</td> <td>局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						R3	R4	R5	R6	R7	計画	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施(毎年度)					実績	局独自の研修の継続(1研修不開催)より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施			
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施(毎年度)																							
実績	局独自の研修の継続(1研修不開催)より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施																						
<p>企業職員にふさわしい人材育成及び職務の遂行に必要な能力開発を行うために、局主催での研修実施をはじめ、知事部局での研修や外部機関の研修に参加させます。</p> <p>局主催の研修実施にあたっては、内容等の設定を適切に行うとともに、受講者の意見を踏まえるなど、より質の高い研修効果を目指し内容等の見直しを行っていきます。</p> <p>全職員に接客対応マニュアルを配布するとともに、一人ひとりが自己の接客態度を振り返る接客マナーチェックテストを一斉実施します。</p> <p>また、外部講師による接客サービス向上研修を継続的に実施します。</p> <p>さらに、接客サービス推進月間では、各所属に接客サービスについて確認・改善を図るとともに、委託会社への意識啓発を図ります。</p> <p>局に蓄積されている技術力、現場のノウハウを効果的に継承させるため、OJT基本計画に基づき、OJTの有効な推進を図ります。</p>																								
【事業の実施状況】		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症等の状況及び研修効果を勘案しながら、局主催研修の開催方法の検討を進め研修を実施しました。</li> <li>初任者研修については、引き続き局職員講師によるオンデマンド配信で実施し、OJT研修(推進責任者研修及び担当者研修)については、研修効果を高めるため対面形式での実施方法に変更し開催しました。</li> <li>コンプライアンス特別研修については、重点的に意識の向上を図るべきコンプライアンス推進員等は対面形式での研修に変更し、他の職員は職場研修及び総務企画課職員によるオンデマンド配信で研修を開催しました。また、管理者研修(所属長向けコンプライアンス研修)は、人と人との距離を確保し、十分な注意を払った上で引き続き集合形式で実施しました。</li> <li>また、従来からグループディスカッション等を主題として実施してきた若手職員研修については、他の研修との内容の重複があることから、今後の研修の在り方を見直しました。</li> <li>接客マナーの向上については、接客対応マニュアルの配付、接客マナーチェックテストの実施、接客サービス向上研修を実施しました。</li> <li>また、動画教材の視聴等による各所属の取組を推進する接客サービス推進月間を実施しました。</li> </ul>																						
【達成状況の分析及び課題】		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの状況と研修効果を勘案しながら、開催方法を変更し実施するなど工夫をし、また、集合形式での実施にあたっては感染症拡大防止に配慮し実施しました。</li> <li>令和4年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。</li> </ul>																						
【今後の具体的取組】		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き社会情勢等を踏まえた研修の実施を検討するとともに、より質の高い研修効果を目指し、研修内容や研修方法の検討を進めます。</li> <li>接客サービス向上のため、各所属への聞き取り等を積極的に行いながら現状把握に努め、効果的な取組内容となるよう更新していきます。</li> </ul>																						

主な事業名		ホームページ・広報誌による情報発信、学校訪問、職場見学会等の実施【総務企画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
425	305	0	305	305	0	305	
達成指標	(ウ) 事業運営に必要な執行体制の確保				達成状況	達成している	
【R4 年度事業計画】 事業運営に必要な人員を確保するため、ホームページや局紹介パンフレット等による情報発信、県内外の工業高校等への学校訪問及び職場見学会を開催するなどの取り組みを行います。							
【事業の実施状況】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分配慮した上、県内外の工業高校等への訪問などの採用活動を行いました。 ・民間ウェブサイトや全国の大学や工業高校等への採用案内の送付等により、採用情報の周知を行いました。 ・採用選考では、民間企業経験者を3名採用したほか、職員の再任用や知事部局等との積極的な人材交流を行い、年齢構成のバランスにも配慮しました。							
【達成状況の分析及び課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、感染防止に十分配慮した上、職員採用活動を行ったほか、職員の再任用や知事部局等との積極的な人材交流などを行い、事業執行に必要な職員を確保できたことから、「達成している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】 ・今後も他自治体等の厳しい人材獲得競争が見込まれることから、引き続き各種広報媒体の活用や学校訪問等による計画的な職員採用活動を行うとともに、職員の再任用や知事部局等との積極的な人材交流に努めていきます。							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	新規採用や知事部局との人事交流等の実施(毎年度)						
実績	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保					

主な取組名 ICTや民間活力の活用による業務の効率化

主な事業名		支払方法の多様化/手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等(再掲)【業務振興課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
147,234 (再掲)	160,517 (再掲)	0 (再掲)	160,517 (再掲)	152,932 (再掲)	0 (再掲)	152,932 (再掲)	
達成指標	(エ) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況(再掲)				達成状況	達成している	
【R4 年度事業計画】 「ICT等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、水道料金等のクレジットカード払いを年度内に開始するため、指定納付受託者との調整、料金システム等の改修、お客様への周知等を行います。							
【事業の実施状況】 令和5年1月から水道料金等のクレジットカード払いを開始しました。 また、キャッシュレス化促進事業として、インターネット広告や電車内窓上広告の掲載、キャラバンイベント等を実施し、お客様へキャッシュレス決済の利用を周知しました。							
【達成状況の分析及び課題】 令和4年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。							
【今後の具体的取組】 引き続き令和5年度中の口座振替申込み Web 受付の導入に向け、受託者を選定し、サイトの構築やシステムの改修等を実施してまいります。							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	オンライン受付機能追加	オンライン受付利用の普及		
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入					

主な事業名		ICT（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討【総務企画課】					
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)			
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計	
3,323	2,850	0	2,850	2,785	0	2,785	
達成指標	(オ) ICT（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討			達成状況	達成している		
<p><b>【R4 年度事業計画】</b>                  新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、テレワーク等業務形態の多様化が進んでいることを踏まえ、ICT(情報通信技術)の利活用による業務の効率化について、県(知事部局)が策定する次期行財政改革計画の動向を踏まえ、業務の効率化に向けた検討を進めます。</p> <p><b>【事業の実施状況】</b>                  令和3年度に実施したアンケートの結果を踏まえ、浄・給水場における施設点検等の現場作業量の軽減に向け、ウェアラブルカメラ( )の活用を検討し、実証実験を開始したほか、知事部局で試験導入を始めたローコード開発ツール( )を活用し、幕張庁舎での郵便物集計システムの運用を開始しました。                  また、迅速な漏水事故対応や窓口対応業務の効率化を図るため、水道本管等の管路情報をインターネットで閲覧できる「千葉県営水道 管路情報閲覧システム」の運用を開始しました。                  その他、県(知事部局)の動向を踏まえ、当局でもペーパーレス化を推進しました。</p> <p>ウェアラブルカメラ：現場で装着・設置して撮影した映像を遠隔からリアルタイムで確認・会話できるクラウド録画型カメラ                  ローコード開発ツール：クラウド上で様々な職員が同時にデータを閲覧、編集できるデータベース型の業務システム(アプリ)</p> <p><b>【達成状況の分析及び課題】</b>                  令和3年度に実施したアンケートの結果を踏まえた業務効率化の検討を行い、一部について実証実験を開始したことから、「達成している」と評価しました。</p> <p><b>【今後の具体的取組】</b>                  令和4年度に実証実験を行ったウェアラブルカメラについて、浄・給水場で試行導入します。                  併せて、上記の機器等の導入結果や県(知事部局)の動向を踏まえ、ICT(情報通信技術)の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	検討の実施	検討の実施	検討の実施	検討の実施	検討の実施	検討の実施	
実績	検討の実施	検討の実施・機器の実証実験等					

<b>主な事業名</b> 配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託/D B等の新たな契約手法の調査・検討【給水課】						
R4 年度予算額(千円) 鋳鉄管更新工事(再掲)				R4 年度決算額等(千円) 鋳鉄管更新工事(再掲)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
24,400,000(再掲)	24,434,733(再掲)	8,550,859(再掲)	32,985,592(再掲)	22,027,503(再掲)	9,322,459(再掲)	31,349,962(再掲)
<b>達成指標</b>	(カ) 配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施			<b>達成状況</b>	達成している	
<b>【R4 年度事業計画】</b> 増加する管路の更新・整備需要に対応するため、監督職員が行う工程管理や工事現場における立会、施工状況の確認等の業務を可能な限り民間業者に委託することにより業務の効率化を図るとともに、新たな契約手法について調査・検討します。						
<b>【事業の実施状況】</b> 令和4年度は、配水管整備工事に伴う施工管理業務の民間委託を13本実施しました。 また、新たな契約手法の一つである概算数量設計発注方式を試行導入し、試行工事を3本発注しました。						
概算数量設計発注方式 配水管整備事業における設計・積算業務の効率化と、事業のスピードアップを図ることを目的に、配管図等を省略し、配管材料を過去の実績から求めた概算数量で発注するもの。						
<b>【達成状況の分析及び課題】</b> 施工管理業務委託の実施により業務の効率化が図られたことから、「達成している」と評価しました。						
<b>【今後の具体的取組】</b> 引き続き、民間活力を活用した業務の効率化を図るとともに、概算数量設計発注方式の試行工事を実施していきます。						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施(毎年度)					
実績	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施				

**主な取組名** システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化

<b>主な事業名</b> 情報システム及びネットワークの整備【業務振興課】						
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)		
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計
4,367,311	3,895,663	91,872	3,987,535	3,284,637	308,000	3,592,637
<b>達成指標</b>	(キ) 情報システム等の整備件数			<b>達成状況</b>	達成している	
<b>【R4 年度事業計画】</b> 情報システムの安定運用及び情報資産の安全性確保を図るため、機器等の更新及びシステム改修を行うとともに適切な維持管理を実施します。 ・ 共通基盤サーバーの更新 ・ サーバーOS更新等に伴う情報システムの改修 ・ 基幹系ネットワーク通信機器更新 等						
一部再掲 水道料金システム 61,600(千円) 県水お客様センター支援システム 43,421(千円) 3(6) 支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等						
<b>【事業の実施状況】</b> 共通基盤サーバー及びサーバーOS更新等に伴う情報システムの改修、基幹系ネットワーク通信機器更新など、13件の整備を実施しました。						
<b>【達成状況の分析及び課題】</b> 情報システム等について、13件の整備を実施したことから「達成している」と評価しました。						
<b>【今後の具体的取組】</b> 入退室管理機器の更新や局内共通プリンタの更新など、引き続き安定的な情報システムの運用に向けた整備を行います。						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画	18件/年	13件/年	6件/年	2件/年	5件/年	
実績	17件/年	13件/年				

主な事業名		情報セキュリティ研修の実施【業務振興課】							
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)					
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標	(ク) 情報セキュリティ研修等受講者数			達成状況	達成している				
【R4 年度事業計画】 水道サービスの安全かつ持続的な提供を確保するため、職員のセキュリティに対するさらなる知識の習得や意識の向上を図る研修等を実施し、個人情報等の保護及び不正利用の防止に取り組みます。					R3	R4	R5	R6	R7
【事業の実施状況】 情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修等を情報セキュリティ担当者及び管理職職員、新任職員など多くの職員へ実施した結果、231人が受講しました。				計画	150名 /年	150名 /年	150名 /年	150名 /年	150名 /年
【達成状況の分析及び課題】 職員への情報セキュリティ研修について、計画以上の受講者があったこと、受講後アンケートの回答者の約9割が研修を理解しセキュリティ意識が向上したと回答したことから、「達成している」と評価しました。				実績	198名 /年	231名 /年			
【今後の具体的取組】 引き続き職員の情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修を実施します。また、研修内容については、最新のセキュリティインシデントの事例やコンピューターウイルス感染事例について扱い、現実にもした内容となるよう努めます。									

主な事業名		ネットワークの監視【業務振興課】							
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)					
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標	(ケ) 障害等への即日の初動対応率			達成状況	達成している				
【R4 年度事業計画】 県営水道では、情報システムを幅広い分野で活用しており、システム障害等は業務の継続性に大きな影響を及ぼすことから、ネットワークの監視を行っております。監視の結果、計画停電等の既知の障害等を除き、業務の継続に影響のあるネットワークの性能低下や障害等を検知した場合は、初動対応を即日実施し、障害等の影響の最小化を図ります。					R3	R4	R5	R6	R7
【事業の実施状況】 監視サーバーを用いることにより、通信機器における動作状況を常時監視しています。監視業務は外部委託により24時間365日継続して実施しています。異常があった際は職員や保守業務委託者による復旧を行っています。				計画	100% /年	100% /年	100% /年	100% /年	100% /年
【達成状況の分析及び課題】 ネットワークの異常を検知した際には、原因切り分けを速やかに行い、可用性を確保したことから、「達成している」と評価しました。				実績	100% /年	100% /年			
【今後の具体的取組】 引き続きネットワーク監視を行うとともに、障害時には速やかに対応を実施し、ネットワークの安定運用に努めます。									

主な取組名 健全経営の推進

主な事業名	経費の削減【総務企画課】								
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)					
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計			
0	0	0	0	0	0	0			
達成指標	(コ)経費の削減			達成状況	達成している				
<p>【R4 年度事業計画】</p> <p>健全経営を維持しながら、今後、増大する水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減を進めていきます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、小中口径管の更新工事において、発注規模の大型化により、契約事務量の低減化に努めるほか、長寿命管であるGX管を使用することにより、ライフサイクルコストの低減化に取り組みました。</li> <li>マイクロ水力発電及び太陽光発電を安定的に運用したことにより、電気料金の削減を図りました。</li> <li>事務用品等について一括調達を行った他、IT関連機器についても統一化・集約化を推進し、一括調達することで調達コストと契約事務の低減化を図りました。</li> <li>入札に係る審査会をペーパーレスで実施したほか、これまで作成していた広報冊子の内容を動画で作成するなど、ペーパーレス化を推進し、印刷事務負担の低減とコピー用紙等の削減を図りました。</li> <li>ローコード開発ツールを活用した幕張庁舎での郵便物集計システムの運用を開始し、事務負担の低減を図りました。</li> </ul> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>上記の取組を実施することにより、品質確保に留意したコスト削減に努めたことから、「達成している」と評価しました。</p> <p>【今後の具体的取組】</p> <p>引き続き、健全経営を維持しながら、水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減及び業務効率化の取組を行っていきます。</p>				R3	R4	R5	R6	R7	
				計画	工事コスト・ランニングコストの縮減 経常費用の圧縮(毎年度)				
				実績	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた			

主な事業名		企業債の活用及び適正管理、国への要望活動【財務課】																		
R4 年度予算額(千円)				R4 年度決算額等(千円)																
R4 当初予算	R4 最終予算	R3 R4 繰越	計	決算額	R4 R5 繰越	計														
22,500,000	21,500,000	8,500,000	30,000,000	13,000,000	11,000,000	24,000,000														
達成指標	-			達成状況	-															
【R4 年度事業計画】				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td colspan="5" rowspan="2"> </td> </tr> <tr> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>					R3	R4	R5	R6	R7	計画						実績
	R3	R4	R5	R6	R7															
計画																				
実績																				
<p>今後、水道施設の更新需要の増大に伴い、建設改良費の増大が見込まれる中、更新財源の確保を図っていく必要があることから、企業債について、長期的な収支見通しをもとに、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度起債見込(当初予算)225億円</li> </ul> <p>また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、平成19年度から平成24年度にかけて実施された公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っていきます。</p>																				
<p>【事業の実施状況】</p> <p>令和4年度最終予算300億円に対し、130億円分の企業債を発行しました。充当対象となる建設事業の繰越に伴い、令和4年度中の起債を一部見送ったため、繰越分については繰越事業が完了する令和5年度中に発行予定です。</p> <p>企業債残高は令和4年度末で1,392億円となり、中期経営計画における令和4年度末企業債残高である1,592億円を200億円下回っています。</p> <p>また、総務省が作成している「経営比較分析表」の指標の1つである「企業債残高対給水収益比率」は、令和4年度末に2.37倍となりました。前年度の数値ではありますが、令和3年度の類似団体平均値の2.49倍と比べても低い水準となっております。</p>																				
<p>【今後の具体的取組】</p> <p>長期的な収支見通しをもとに、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、企業債の活用を図っていきます。</p> <p>また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っていきます。</p>																				